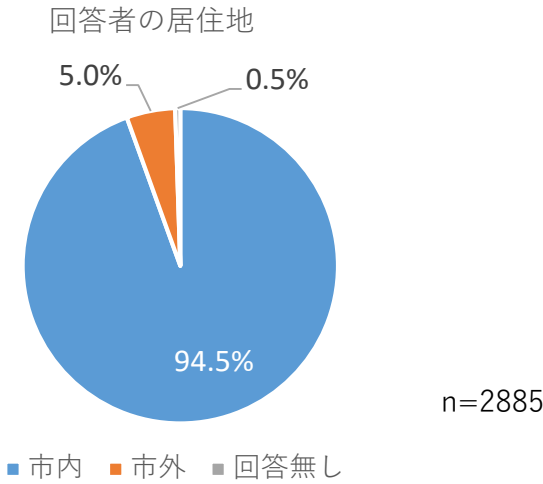


テーマ：防災について

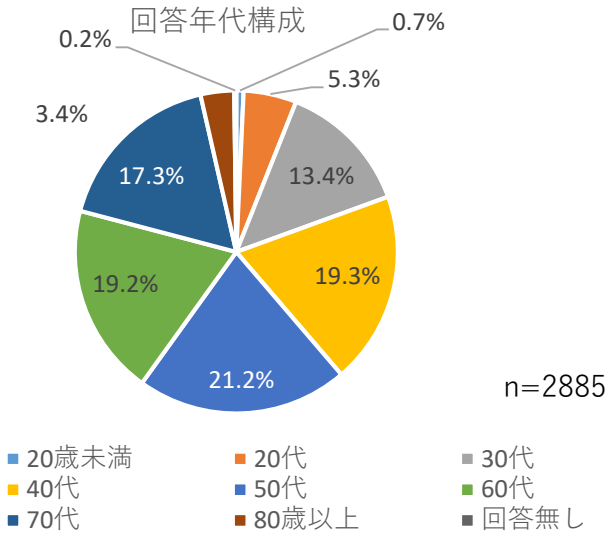
実施期間：2024年（令和6年）2月22日（木）～2月28日（水）

設問 1）お住まいについて教えてください。



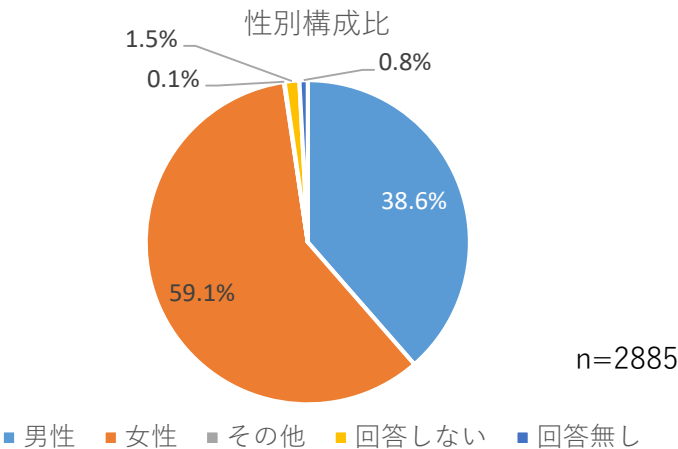
	回答者数（人）	回答者割合
市内	2,726	94.5%
市外	144	5.0%
回答無し	15	0.5%
合計	2,885	100.0%

設問 2）年齢について教えてください。



	回答者数（人）	回答者割合
20歳未満	21	0.7%
20代	153	5.3%
30代	387	13.4%
40代	556	19.3%
50代	612	21.2%
60代	553	19.2%
70代	500	17.3%
80歳以上	97	3.4%
回答無し	6	0.2%
合計	2,885	100.0%

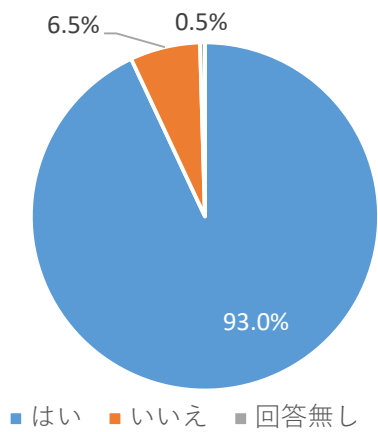
設問 3）性別について教えてください。



	回答者数（人）	回答者割合
男性	1,113	38.6%
女性	1,704	59.1%
その他	2	0.1%
回答しない	42	1.5%
回答無し	24	0.8%
合計	2,885	100.0%

設問 4）あなたはハザードマップを知っていますか。
（※ハザードマップ…災害時に危険な場所、緊急避難場所などを記載した地図）

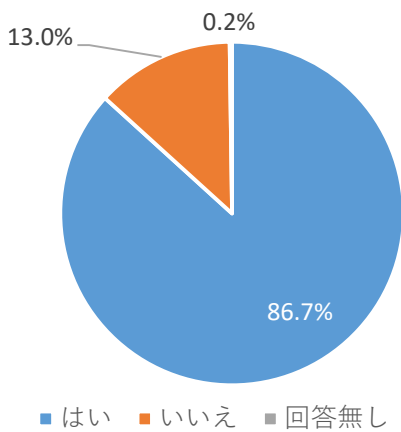
ハザードマップを知っているか



	回答者数（人）	回答者割合
はい	2,684	93.0%
いいえ	188	6.5%
回答無し	13	0.5%
合計	2,885	100.0%

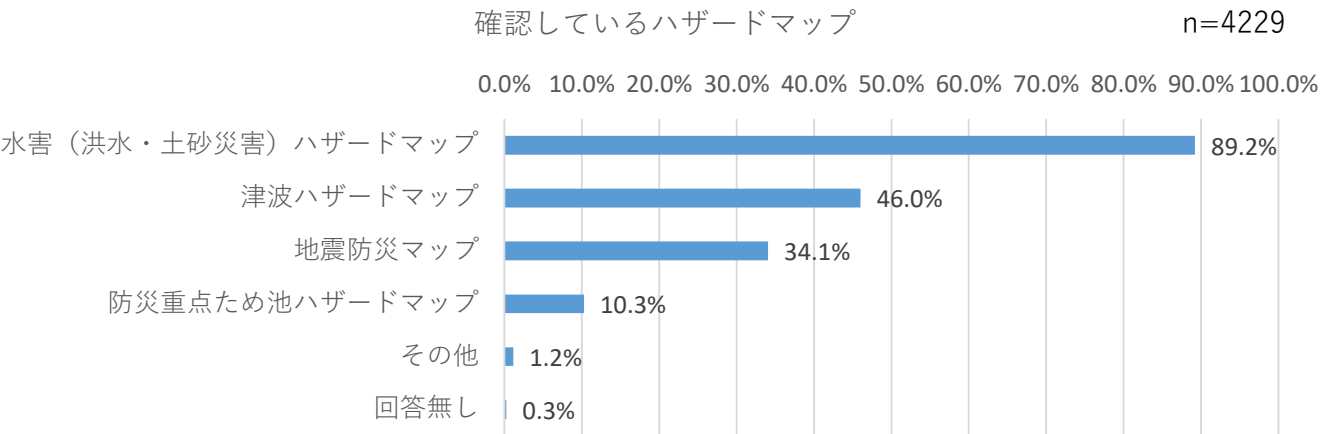
設問 5）【設問 4 で「はい」と回答した方】各種ハザードマップで、自宅の災害リスクを確認していますか。

各種ハザードマップで
自宅の災害リスクの確認をしているか



	回答者数（人）	回答者割合
はい	2,328	86.7%
いいえ	350	13.0%
回答無し	6	0.2%
合計	2,684	100.0%

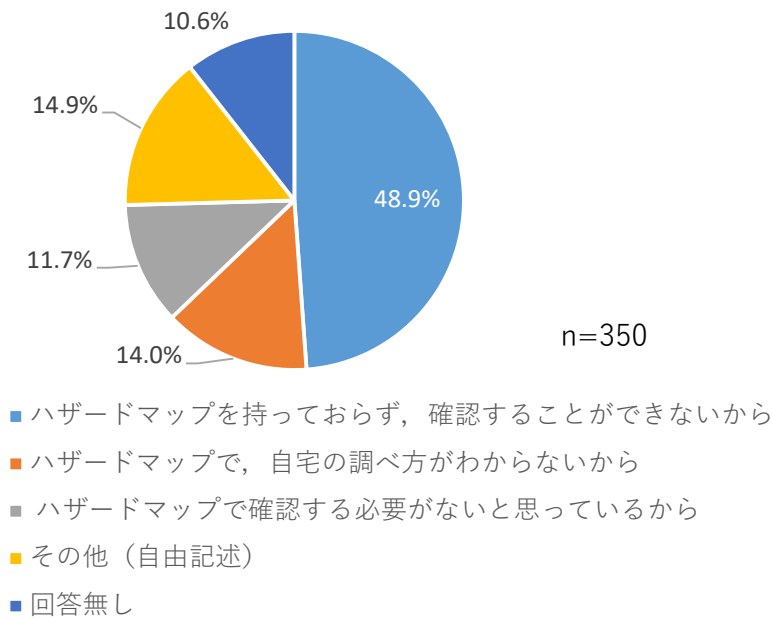
設問 6）【設問 5 で「はい」と回答した方】あなたが確認しているハザードマップは次のどれですか。（複数回答可）



【その他】
国土地理院 重ねるハザードマップ、揺れ倒壊危険度ハザードマップ、Flood Maps、Google mapの標高表示、過去の大地震の情報等

設問 7) 【設問 5 で「いいえ」と回答した方】 各種ハザードマップで、自宅の災害リスクを確認していない理由は何ですか。

各種ハザードマップで、自宅の災害リスクを確認していない理由

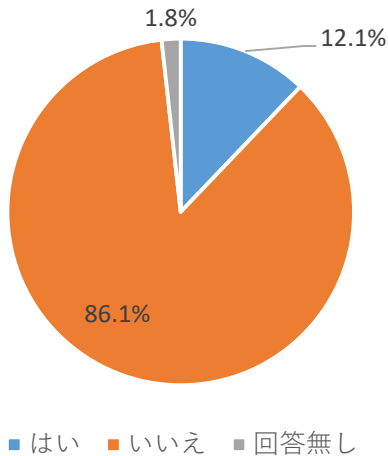


n=350

【その他】
確認しようと思っているが見ていない、見たが覚えていない、見方が分からない、見にくい、大丈夫だと思っている 等

設問 8) あなたは「マイ・タイムライン（防災行動計画）」を作成していますか。
（※「マイ・タイムライン」…自分や家族が災害時にとるべき防災行動を時系列的に整理した計画）

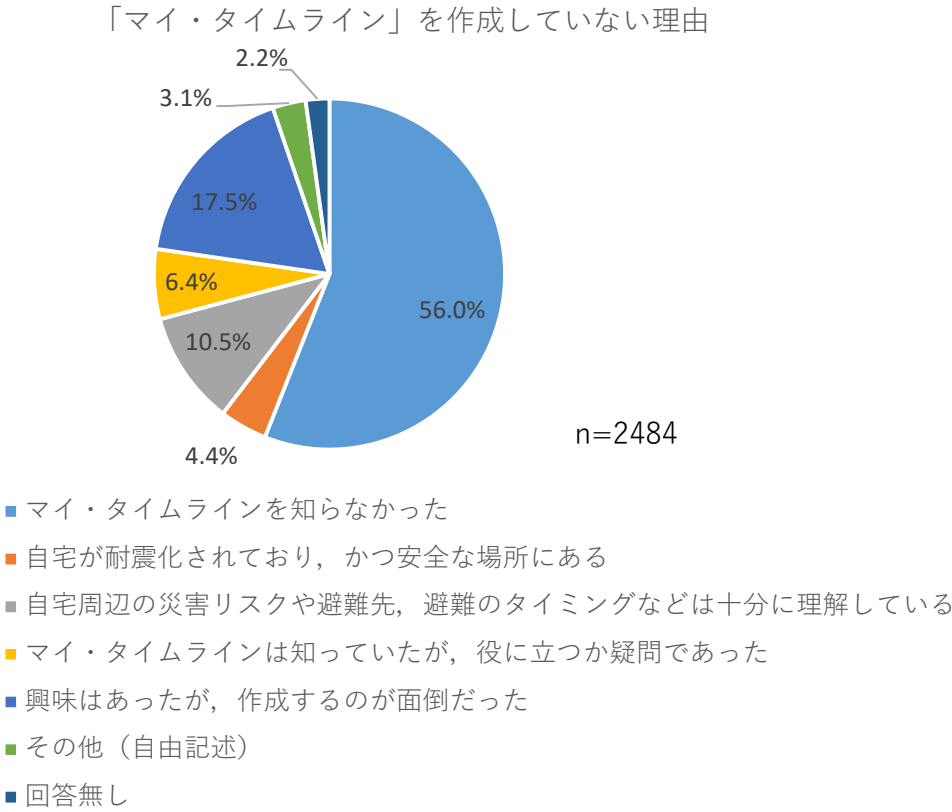
「マイ・タイムライン（防災行動計画）」の作成をしているか



n=2885

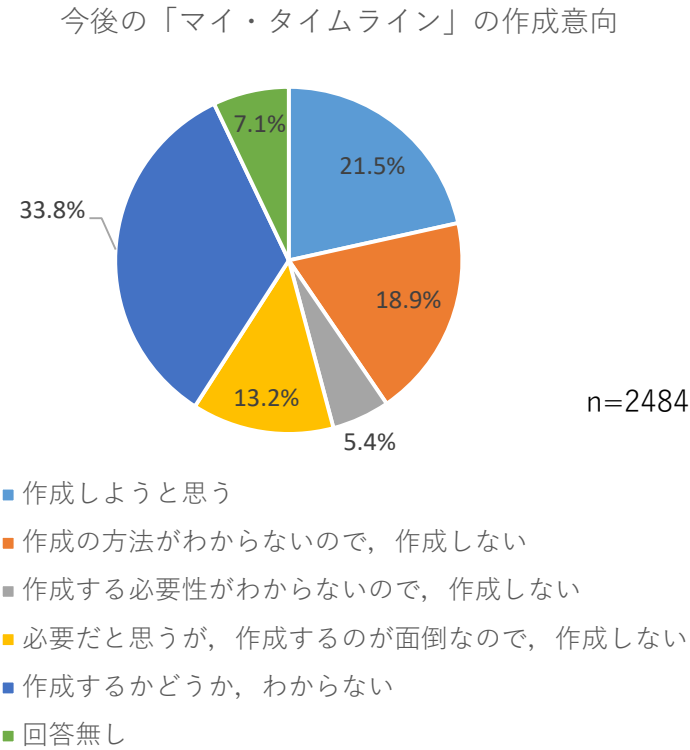
	回答者数（人）	回答者割合
はい	350	12.1%
いいえ	2,484	86.1%
回答無し	51	1.8%
合計	2,885	100.0%

設問 9) 【設問 8 で「いいえ」と回答した方】「マイ・タイムライン」を作成していない理由は次のうちどれですか。



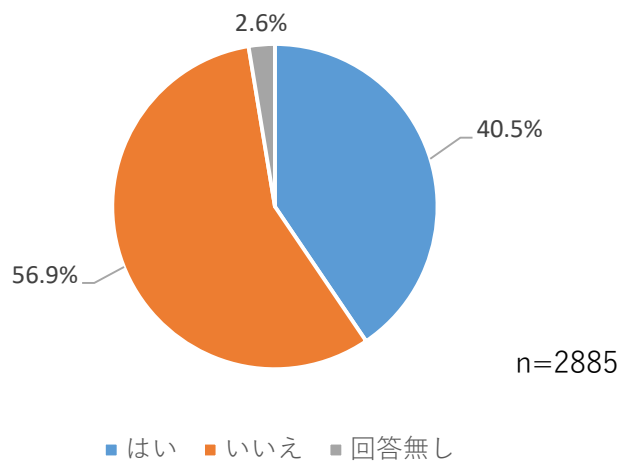
【その他】
家族で話はするが作成に至っていない、必要とは思っているが、先延ばししている、必要性が分からない等

設問 10) 【設問 8 で「いいえ」と回答した方】あなたは、これから「マイ・タイムライン」を作成しようと思いますか。



設問 1 1) あなたは災害に備えて、3 日分以上の食料及び飲料水を備蓄していますか。

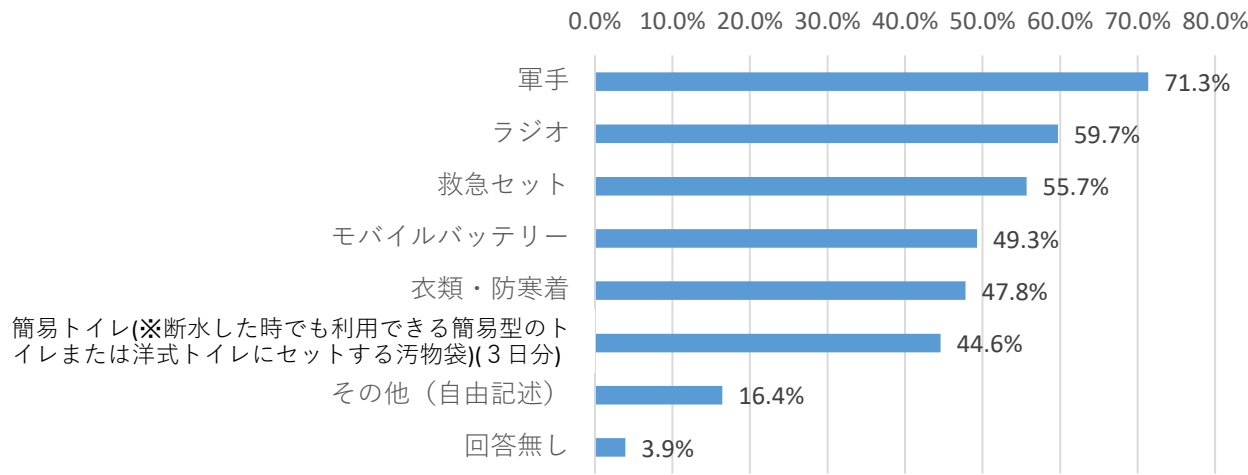
3 日分以上の食料及び飲料水を備蓄の有無



	回答者数（人）	回答者割合
はい	1,169	40.5%
いいえ	1,641	56.9%
回答無し	75	2.6%
合計	2,885	100.0%

設問 1 2) 【設問 1 1で「はい」と回答した方】あなたが「食料と飲料水以外」で準備しているものは、次のどれですか。（複数回答可）

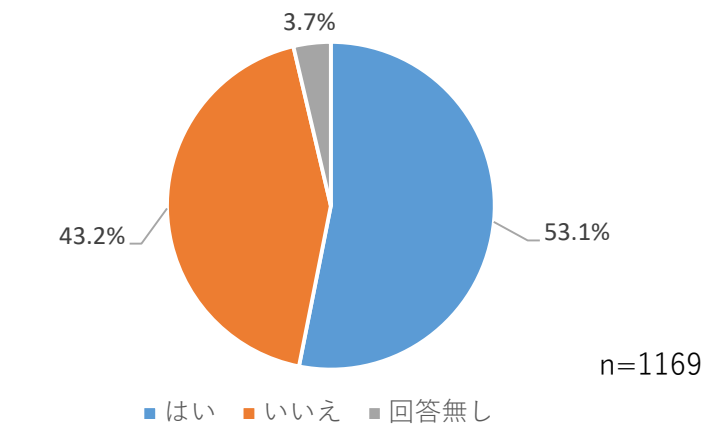
「食料と飲料水以外」で準備しているもの n=4077



【その他】
寝袋、懐中電灯、カセットコンロ、食器類、電池、トイレットペーパー、ペット用品、薬、発電機、ヘルメット、防災リュック、生理用品、マスク、オムツ 等

設問1 3) 【設問1 1で「はい」と回答した方】 備蓄しているものを非常時持ち出し品としてリュックサックに入れておくなど、災害時にすぐに持ち出せるよう準備していますか。

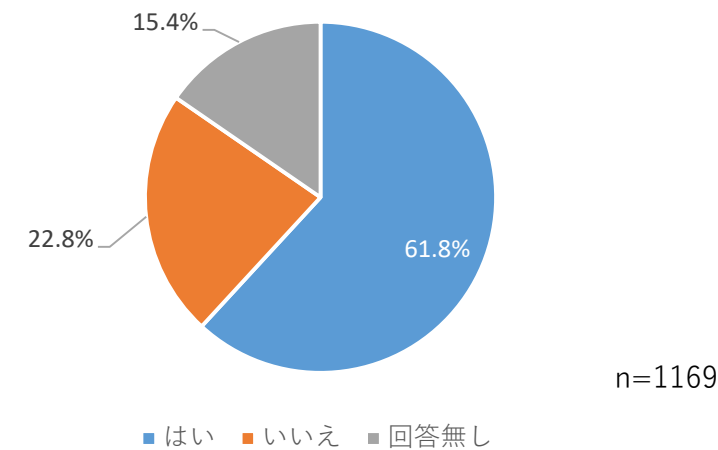
備蓄品を持ち出しできるよう準備しているか



	回答者数（人）	回答者割合
はい	621	53.1%
いいえ	505	43.2%
回答無し	43	3.7%
合計	1,169	100.0%

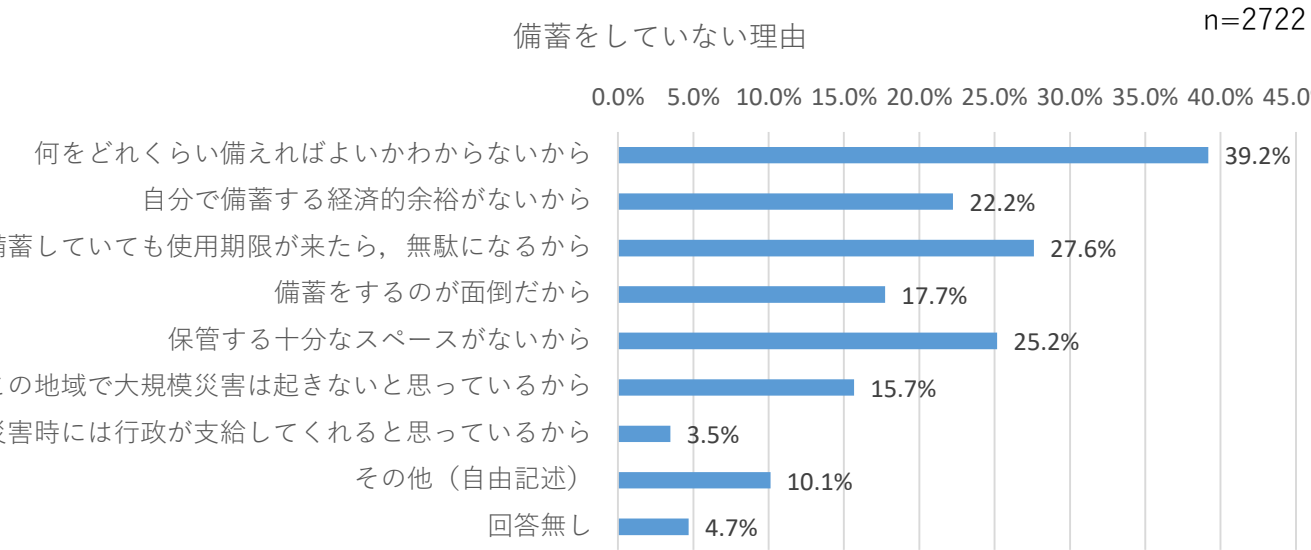
設問1 4) 【設問1 1で「はい」と回答した方】 備蓄をするにあたり、「ローリングストック」を実践していますか。

ローリングストックの実践をしているか



	回答者数（人）	回答者割合
はい	723	25.1%
いいえ	266	9.2%
回答無し	1,896	65.7%
合計	2,885	100.0%

設問1 5) 【設問1 1で「いいえ」と回答した方】 備蓄をしていない理由は次のうちどれですか。（複数回答可）



【その他】
備蓄しているが家族全員3日分には足りない、しないといけなと思っているが行動できていない、準備しようと思っていたのでこのアンケートを機に備蓄します 等

設問16) そのほか、防災に関するご意見があれば記入してください。

【自由記述 主なもの】（全358回答）

■避難に関すること（緊急避難場所、避難所、ハザードマップ等）

- ・ ペット同伴可能な避難所が少ない。
- ・ ハザードマップを見ても周辺全部が水に浸かりそうで、どこに逃げればいいのか分からなくて不安。
- ・ 避難所にどれだけの物資の在庫がどこにどれだけあるのか具体的に知りたい。
- ・ あらゆる災害に対して、避難場所や危険度合が住所によってすぐ分かるものがあると便利。
- ・ このアンケートをきっかけにハザードマップを確認できた。
- ・ 最悪を想定した今のハザードマップは現実感がない。知っておく程度で、訓練は前のハザードマップを基にした方が現実的でいいと思う。
- ・ 転入手続きの際にハザードマップを配付して欲しかった。

■訓練、啓発に関すること

- ・ 一人暮らしで具体的にどうすればいいかととても不安。もっと具体的に地域で避難誘導の訓練をして頂きたい。
- ・ 地域のシュミレーション画像とかで啓発すれば、もっと身近に危機感が持てる。
- ・ 町内会防災訓練に参加した。年に一度でもやることは有意義。
- ・ 防災について具体的に子どもと楽しく学べるイベントで親子で防災を知っていききたい。
- ・ もう少し市民参加型の防災訓練などで意識を高めた方が良い。
- ・ 理解しやすい内容で住民と一緒に防災についてのワークショップなどをした方が良い。
- ・ 先日社協の防災研修講座を受けたが、できれば地域ごとに研修講座があれば良く理解出きるのでは。

■近所、町内会に関すること

- ・ 高齢者で一人暮らし、アパートで町内会にも未加入のため不安。
- ・ 福山に引っ越して近所に知り合いがいないため、避難所に行くまでが不安。
- ・ つい油断をしてしまうので、町内会単位で毎年、話し合う機会が欲しい。
- ・ 町内会単位でなく、その下の組又は班単位での実地訓練が必要。
- ・ 自治会で役員をすると、防災や防犯などの取り組みがよくわかる。役員をして良かったと思う。
- ・ 隣人と普段から顔見知りでコミュニケーションが取れる関係なら良いが、なかなかうまくいかない。

■災害の不安に関すること

- ・ 実際の災害時、どこにどう避難すれば良いか分からない。
- ・ 福山市は地震が少ないので、大きな地震が来た時にちゃんと対応できるのか不安。
- ・ 備蓄品を用意していても、いつどこで起きるか分からない災害に対応できるのか、不安が常にある。
- ・ 年老いた両親と一緒に避難する事ができるかが不安。

設問16) そのほか、防災に関するご意見があれば記入してください。

■防災意識、危機感に関すること

- ・引っ越してきましたが、ハザードマップ上危険な自治体にも関わらず、水害や津波に対する防災の意識が低い。
- ・災害が少ないので、市民の災害に対しての危機感が全く無い。
- ・災害の少ない地域で危機感もさほど無いのが正直なところ。
- ・福山市では地震は大丈夫だろうという考えがあるので、なかなか本腰をいれて備蓄する気にならない。

■家族に関すること

- ・津波が来たら行く場所だけは家族で話をしている。
- ・このアンケートで、防災について家族で話し合っただけだと、危機感を感じた。
- ・家族が離れて暮らしているため、災害にあった場合に電話以外でも安否確認ができないか。
- ・マイタイムラインをスマホで簡単に作成、家族共有できるような仕組みを作りたい。

■情報、広報に関すること

- ・災害に対する広報は定期的にしてもらえると意識が高まる。
- ・今回のように日頃から意識を高めるようなアンケートや情報発信を継続してほしい。
- ・こうしたLINEでの発信を含め防災情報を様々なルートで発信していただけると助かる。
- ・実際の避難についての知恵やアドバイスを配信してほしい。
- ・市からは色々な情報発信されてますが、あまり災害がない地域なので伝わりにくい。

■備蓄に関すること

- ・避難時に必要な物資を持ち出すことが基本ですが、緊急避難場所にも、最低限の備蓄があると安心。
- ・備蓄の食品はつい賞味期限を忘れてしまうため、こうしたLINEで注意喚起をしてほしい。
- ・家族全員の備蓄をするのは難しい。
- ・自分なりに考えて備蓄しているが、具体的な準備品目と数量を詳しく教えてほしい。
- ・市の備蓄品の種類、数量等を公表し、災害時には不足する事周知すれば、各自の備蓄意識が高まる。

■高齢者や障がい者等要支援者に関すること

- ・高齢者、障がい者等の避難方法について、より綿密な計画が必要。
- ・高齢者等の避難支援を町内会でも考えているが、自分が被災した時、本当に活動できるのか心配。
- ・車イスの娘を災害時の避難場所など、どうするかいつも考えている。
- ・在宅酸素療法しているが、電気がないと困るし、酸素ボンベもすぐ無くなるのでどう対応をしていいのかわからない。
- ・医療ケア児向けの避難所があったら教えてほしい。地震時にかかりつけ医にたどり着けるか不安。